

# 岡部みわ保育園解体工事

意匠図		電気設備図		意匠図(増築)		電気設備図(増築)						
A－01	図面リスト	N.S	E－01	電気設備特記仕様書 配置図	1/200	増A－01	建築概要・建物求積図	1/300	増E－01	電気設備特記仕様書	N.S	
A－02	特記仕様書(1)	N.S	E－02	照明器具姿図 分電盤結線図	N.S	増A－02	仕上表	N.S	増E－02	電気設備配線図	1/100	
A－03	特記仕様書(2)	N.S	E－03	電灯設備配線図	1/100	増A－03	天井伏図・基礎伏図	1/100				
A－04	施工条件特記仕様書	N.S	E－04	動力弱電設備配線図	1/100	増A－04	立面図	1/100	機械設備図(増築)			
A－05	仕上表	N.S	E－05	火災報知設備配線図	1/100	増A－05	矩計図－1	1/50	増M－01	機械設備特記仕様書－1	N.S	
A－06	配置図・求積図・表・公図写	1/200	E－06	電気設備平面図	1/100	増A－06	矩計図－2	1/50	増M－02	機械設備特記仕様書－2	N.S	
A－07	平面図	1/100				増A－07	展開図	1/50				
A－08	屋根伏図	1/100	機械設備図			増A－08	建具表	1/50				
A－09	立面図	1/100	M－01	衛生工事特記仕様書	N.S	増A－09	家具図	1/10				
A－10	矩計図	1/50	M－02	配置図	1/200							
A－11	各所詳細図	1/50	M－03	スリーブ図	1/100	構造(増築)						
A－12	保育室平面詳細図	1/50	M－04	便所施工図－1	1/20	増B－01	構造特記仕様書－1	N.S				
A－13	保育室展開図	1/50	M－05	便所施工図－2	1/20	増B－02	構造特記仕様書－2	N.S				
A－14	保育室 便所 平面詳細図・展開図	1/50	M－06	調理室 便所施工図	1/20	増B－03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図	N.S				
A－15	調理室 玄関廻り 平面詳細図・展開図	1/50	M－07	暖房工事施工図	1/100	増B－04	鉄骨構造標準図－1	N.S				
A－16	職員室廻り平面詳細図・展開図	1/50	M－08	便所断面図－1	1/20	増B－05	鉄骨構造標準図－2	N.S				
A－17	乳児室 調乳室 便所平面詳細図・展開図	1/50	M－09	便所断面図－2	1/20	増B－06	梁現場接合部標準図	1/20				
A－18	建具配置図	1/100	M－10	手洗い流し グリーストラップ施工図	1/20	増B－07	基礎伏図・R階床伏図	1/100				
A－19	金属製建具表	1/100	M－11	外部施工図－1	1/50	増B－08	各面軸組図	1/100				
A－20	木製建具表	1/100	M－12	外部施工図－2	1/100	増B－09	基礎リスト	1/30				
A－21	屋外附帯工事 平面図・断面図・詳細図	1/50	M－13	オイルタンク架台詳細図	1/50	増B－10	柱リスト	1/30				
A－22	基礎伏図 基礎梁リスト	1/100	M－14	空調設備平面図	1/100	増B－11	梁リスト	1/30				
A－23	小屋伏図 部材表	1/100				増B－12	鉄骨架構詳細図	1/30				
A－24	軸組図	1/100	参考図－1	遊具－1	1/20							
A－25	鉄骨詳細図－1	1/100	参考図－2	遊具－2	1/20							
A－26	鉄骨詳細図－2	1/30	参考図－3	遊具－3	1/30							
A－27	外構図－1	1/200	参考図－4	遊具－4	1/20							
A－28	外構図－2	1/200										
A－29	仮設計画図	1/200										
TITLE 岡部みわ保育園解体工事		DRAWING TITLE 図面リスト			SCALE N.S	DATE 2024.02	CHECK	DRAW	一級建築士事務所  〒427-0045  島田市向島町2924-1  一級建築士事務所登録 (7) 第4179号 TEL 0547-36-6147  一級建築士登録  第156057号 FAX 0547-37-8150  酒井 勝			NO A-01

解体工事特記仕様書			石綿含有建材の事前調査			2 杭			建設廃棄物の種類			建設廃棄物の種類			建設発生土の処理		
第1 工事概要			6 石綿含有建材の事前調査			杭の撤去			再資源化等			建設発生土の処理			建設発生土の処理		
1 工事名称	岡部みわ保育園解体工事		6 石綿含有建材の事前調査	※ 図示		※ 撤去する	残置する（位置は図示により、残置図図を作成すること）		※ 再資源化等をする施設の名称及び所在地	(4.4.1)		建設発生土の処理	(標3.2.5)		建設発生土の処理		
2 工事場所	藤枝市岡部町内谷 地内		既存の設計図書	○ 有		※ 引抜き工法	(杭の処理：)		建設廃棄物の種類	再資源化の有無		建設発生土の処理	再資源化の有無		建設発生土の処理		
3 敷地面積	約2,500 m <sup>2</sup>		石綿含有建材の調査報告書の貸与	○ 有		※ 分別解体する	(杭の処理：)		建設廃棄物の種類	再資源化の有無		建設発生土の処理	再資源化の有無		建設発生土の処理		
4 都市計画	○ 都市計画区域内		調査方法	○ 定性分析		※ 分別解体する	(杭の処理：)		建設廃棄物の種類	再資源化の有無		建設発生土の処理	再資源化の有無		建設発生土の処理		
5 用途地域	・ 誘引 (○ 市街化区域		分析による石綿含有建材の調査	○ 定量分析		※ 分別解体する	(杭の処理：)		建設廃棄物の種類	再資源化の有無		建設発生土の処理	再資源化の有無		建設発生土の処理		
6 防火地域	○ 第一種中高層住居専用地域		分析対象：アフライト、アセイト、アゾノリト、アゾノリト、アゾノリト、アゾノリト	○ 指定なし		※ 分別解体する	(杭の処理：)		建設廃棄物の種類	再資源化の有無		建設発生土の処理	再資源化の有無		建設発生土の処理		
7 その他の地域・地区	・ 防火地域		分析方法(セグメント数：3セグメント/箇所)	○ 指定なし		※ 分別解体する	(杭の処理：)		建設廃棄物の種類	再資源化の有無		建設発生土の処理	再資源化の有無		建設発生土の処理		
8 解体建物概要	・ 風圧力算定のための地表面粗度区分 (Ⅱ		材料名	○ Ⅲ)		※ 分別解体する	(杭の処理：)		建設廃棄物の種類	再資源化の有無		建設発生土の処理	再資源化の有無		建設発生土の処理		
9 工事内容	・ 風圧力算定のための基準速度 V <sub>0</sub> =		採取箇所	○ 図示		※ 分別解体する	(杭の処理：)		建設廃棄物の種類	再資源化の有無		建設発生土の処理	再資源化の有無		建設発生土の処理		
第2 仕様	・ 積雪荷重 H12建設省告示1455号における区域		1 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下「標準仕様書」という。)	別表 (※24		※ 分別解体する	(杭の処理：)		建設廃棄物の種類	再資源化の有無		建設発生土の処理	再資源化の有無		建設発生土の処理		
1 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下「標準仕様書」という。)	・ 騒音規制法に基づく指定区域 (1種		2 電気設備工事及び機械設備工事の本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。	○ 2種		※ 分別解体する	(杭の処理：)		建設廃棄物の種類	再資源化の有無		建設発生土の処理	再資源化の有無		建設発生土の処理		
2 電気設備工事及び機械設備工事の本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。	・ 3種		3 設計図の内容に明記がない場合、又は相違ある場合は、原則として監督職員の指示によるほか、次の優先順位により判定する。	・ 4種)		※ 分別解体する	(杭の処理：)		建設廃棄物の種類	再資源化の有無		建設発生土の処理	再資源化の有無		建設発生土の処理		
3 設計図の内容に明記がない場合、又は相違ある場合は、原則として監督職員の指示によるほか、次の優先順位により判定する。	・ 騒音規制法に基づく指定区域 (1種		(1) 質問回答書(2)から(5)までに対するもの	○ 2種		※ 分別解体する	(杭の処理：)		建設廃棄物の種類	再資源化の有無		建設発生土の処理	再資源化の有無		建設発生土の処理		
4 別冊の図面	・ 騒音規制法に基づく指定区域 (1種		(2) 現場説明書	○ 3種		※ 分別解体する	(杭の処理：)		建設廃棄物の種類	再資源化の有無		建設発生土の処理	再資源化の有無		建設発生土の処理		
5 特記仕様	・ 騒音規制法に基づく指定区域 (1種		(3) 特記仕様書	○ 4種)		※ 分別解体する	(杭の										

5章 特別管理産業廃棄物の処理

1 施工調査	(5. 1. 2)		
分析調査を行う特別管理産業廃棄物の種類	採取する部位又は箇所等	採取する数量	備考

2 特別管理産業廃棄物の処理	(5. 4. 1)	
特別管理産業廃棄物の種類	処理施設の名称等	所在地等

注)上記については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても、設計変更の対象としない。

3 PCBを含む機器類	(5. 4. 1)	
引渡しを要する機器類		
・		
注)PCBを含む機器類は、適切な容器に収め、表示を付して調査と共に監督職員に引き渡すこと。		
微量PCBの分析調査	・ 行う	・ 行わない
調査対象機器	※ 図示	

4	シーリング材の調査及び撤去	(5.4.1)
・	第一次判定 (シーリング材種の判定)	
	日本シーリング材工業会に次のシーリング材のサンプルを送付し、材種の判定を行う。	
	判定結果については、監督職員に速やかに報告する。	
	サンプル採取箇所	※ 監督職員との協議による
	採取箇所数	※ 監督職員との協議による
	採取方法は「PCB含有判定シーリング材」採取マニュアル(日本シーリング材工業会)を参考にすること。	
・	第二次判定 ( ・ PCB含有量の判定	石綿含有量判定 )
	専門分析機関に次のシーリング材のサンプルを送付し、含有量の分析を行う。なお、分析サンプルの四周は除去し、採取部の内部(大気にさらされていない部分)を取り出して分析する。判定結果については、監督職員に速やかに報告する。	
	サンプル採取箇所	採取箇所数
撤去方法	○ 「標準施工要領書(日本シーリング工事業協同組合連合会/日本シーリング材工業会)」による。	
	石綿含有成形板の除去に準じる	
撤去範囲	※ 図示	板間目地・サッシ廻り
注) PCB含有シーリング材は、適切な容器に収め、表示を付して調査と共に監督職員に引き渡すこと。		

5 廃油	(5. 4. 1)	
廃油の処理	・ 焼却処分	
	処理施設等の名称 ( )	
	所在地等 ( )	
	・ 中間施設で再生処理	
	処理施設等の名称 ( )	
	所在地等 ( )	

6 廃酸、廃アルカリ	(5. 4. 1)	
・ 鉛蓄電池及びアルカリ蓄電池の電解液		
処理方法	・ (5. 4. 1)による	処理施設等の名称 ( )
		所在地等 ( )
	・ 製造業者に委託	製造業者の名称 ( )
・ 吸収冷凍機、直置き吸収冷凍水機等の臭化リチウム水溶液等		
処理方法	・ (5. 4. 1)による	処理施設等の名称 ( )
		所在地等 ( )
	・ 製造業者に委託	製造業者の名称 ( )

7 ダイオキシン類	(5. 4. 1)	
サンプル調査	・ 行う	・ 行わない
空気中のダイオキシン類濃度測定	・ 行う	・ 行わない
解体工法	※ 廃棄物焼却施設関連作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱(基発0110第2号平成26年1月10日厚生労働省労働基準局長通知)に基づき実施すること。	
・		
処分方法	※ 3mg-TEQ/g以下にて処理を行うこと。	
・		

6章	石綿含有建材の除去及び処理	
1	石綿粉じん濃度測定	(6. 1. 3)
	・ 石綿粉じん濃度測定	
	測定室 ( )	
	成形板の除去の際は、原則として粉じん濃度測定を実施しない。	

石綿含有吹付材の粉塵濃度測定				
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)
・	処理作業前	測定1	処理作業室内	計 ( ) 点 (注) 1
・		測定2	調査対象室外部の付近	計 ( ) 点 大気
・	処理作業中	測定3	処理作業室内	計 ( ) 点 (注) 1
・		測定4	排気ダクト入口	計 ( ) 点 —
・		測定5	集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	出口吹出し風速1m/sec以下の位置計 ( ) 点 —
・		測定6	処理作業室外	計 ( ) 点 —
			・ 施工区画周辺	
			・ 敷地境界	
・	処理作業後(シート養生中)	測定7	処理作業室内	計 ( ) 点 —
・	処理作業後(シート撤去後)	測定8	処理作業室内	計 ( ) 点 (注) 1
・	1週間以降	測定9	調査対象室外部の付近	計 ( ) 点 大気

注1 各施工箇所ごとの平面積が50m2以下までは2点、300m2以下までは3点とする。300m2を超えるものは、監督職員と協議する。

測定方法	
・ 自動測定器による測定	
測定名称	測定方法
・ 測定4	粉じん相対濃度計(ダストホコリ計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リミットアナライザー)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定
・ 測定5	

・ JIS K 3850-1に基づいた測定			
測定名称	ノズル径φ(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・ 測定4	25	5	30
・ 測定5			
・	47	10	120
・			
・	47	10	240
・			
・			

2 石綿含有吹付材の除去工法	(6. 3. 1～4)		
除去対象範囲	※ 図示		
除去工法	※ 共通仕様書6. 3. 2(1)による		
・			
除去した石綿含有吹付け材等飛散防止措置	※ 湿潤化	・ 固形化	
処分方法	・ 埋立処分(管理型最終処分場)	・ 中間処理(溶融、無害化処理)	

3 石綿含有保温材等の除去 (石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む)	(6. 4. 1～4)		
除去対象範囲	※ 図示	・	
除去工法	・ 破砕して除去	・ 手ばらし	
除去した石綿含有保温材等の飛散防止	※ 湿潤化	・ 固形化	
除去した石綿含有保温材等の処分	・ 埋立処分 (管理型最終処分場)	・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)	

石綿含有成形板の除去		(6. 5. 1～4)
除去対象範囲	※ 図示	
・ 石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外）の除去		
除去対象範囲	・ 図示	
除去した石綿含有成形板の処分		
・ 石綿含有せっこうボード		
※ 埋立処分（管理型最終処分場）		
○ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板		
・ 埋立処分（安定型最終処分場）		
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）		
○ 石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種）の除去		
除去対象範囲	・ 図示	・
隔離養生（負担不要）方法	・ 図示	
足場	・ 図示	
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分	○ 埋立処分（安定型最終処分場）	
	・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）	

石綿含有建築用仕上塗材又は下地調整材の除去				(6. 6. 1～5)
対象仕上塗材	・ 図示	○ 仕上表による		
石綿含有の下地調整塗材	・ 有	・ 無		
下地調整塗材の除去	・ 含む	・ 含まない	・ 下地調整塗材無	
除去対象範囲	・ 全面	・	・ 外壁補修箇所等作業箇所のみ撤去	・ 図示
外壁補修等作業は、足場設置、アザキ、機器及び配管、配線器具類の固定等軽微な作業を示す。				
除去工法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集じん装置併用手工具利用工法</li> <li>・ 集じん装置付高圧水洗工法（15MPa以下、30～50MPa程度）</li> <li>・ 集じん措置付超高圧水洗工法（100MPa以上）</li> <li>・ 超音波利用工法（HEPA7（μ）付き掃除機併用含む）</li> </ul>			
○ 剥離剤併用手工具利用工法				
・ 剥離剤併用高圧水洗工法（30～50MPa 程度）				
・ 剥離剤併用超高圧水洗工法（100MPa 以上）				
・ 剥離剤併用超音波利用工法				
・ 集じん装置付ハイパースonic利用工法				
上記工法によらない場合は、監督職員と協議の上、承諾を得ること				

6 建築設備に使用されているアスベスト含有材の処理	(6. 6. 1)		
対象箇所	・ フランジ用ガスケット (ダクト)		
	・ 配管用成形保温材		
撤去方法	※ 図示		

○ 7 官公庁への届出			
・ 労働安全衛生法に基づく届出			
○ 石綿障害予防規則に基づく届出			
○ 大気汚染防止法に基づく届出			

7章 特殊な建設副産物の処理				
1 特殊な建設副産物の改修及び処分	回収又は処分を行う特殊な建設副産物の種類	対象機器名称	分析調査	回収業者又は処分場の名称等
	フロン		・ 行う	
	ハロン		・ 行わない	
	六ふっ化硫黄 (SF6)ガス			
	PPGOS(ペリフルオロ)			

注)上記については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても、設計変更の対象としない。

フロン		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 行う</li></ul>		
ハロン		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 行わない</li></ul>		
六ふっ化硫黄 (SF6)ガス				
PFOS(ペルフルオロオクタン スルホン酸)				

藤枝市役所建築住宅課	一級建築士事務所エスティービー	管理建築士 酒井 勝 一級建築士登録 第156057号	検図	作図	日付	R6/2	建設工事名	岡部みわ保育園解体工事	解体工事特記仕様書(R05.1)	2 / 2	A-03
------------	-----------------	--------------------------------	----	----	----	------	-------	-------------	------------------	-------	------



施工条件特記仕様書										道路関係	明示項目	適用項目	明示が必要な場合		明示事項		内容						
下記項目のうち適用項目○印該当欄は、当該工事に関する施工条件として明示するものである。 なお、明示事項に変更が生じた場合は、監督職員に報告し、協議するものとする。											2	仮道路		仮道路を設置する場合		仮設道路の仕様							
														安全施設等の設置期間									
														工事終了後の措置									
1 工程関係	1	関連工事との調整		他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工期等に影響がある場合	影響を受ける部分						6 仮設備関係	1	仮設備 （仮土留、仮橋、足場等）		仮設備を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合	仮設備の内容							
					影響を受ける工事内容											仮設備の期間							
					関連する工事内容											仮設備の条件							
					関連する工事の開始又は完了の時期																		
	2	施工時期、時間の制限		施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合	制限される施工内容									仮設備の構造、工法及びその施工範囲を指定する場合	仮設備の種類		工事特記仕様書、図示による。						
					制限される施工時期・施工時間										仮設備の構造、施工方法、施工範囲		図示による。						
					制限される施工方法										設計条件の内容		図示による。						
	3	関係機関等との協議		当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合	制約を受ける内容						7 建設副産物関係	1	建設発生土の搬出		建設発生土が発生する場合	受入場所及び仮置き場所までの距離		工事特記仕様書による。					
					協議内容											処分又は保管条件		工事特記仕様書による。					
					協議成立見込時期											現場内利用の内容							
																減量化の内容							
	4	地下埋設物及び埋蔵文化財の事前調査		工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合	調査項目								○	建設副産物及び建設廃棄物の処理	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合	処理方法、処理場所等の処理条件		建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適切に処理する。					
					調査期間											受入場所、距離等の処理条件		建設廃棄物の種類		数量	処理等施設の名称	片道運搬距離	受入条件等
					移設期間																		
5	作業不能日数			休日日数以外の作業不能日数																			
6	指定部分		工事の規模（範囲）及び工期について指定した部分がある場合	当該工事の規模（範囲）						8 工事支障物件等	1	工事支障物件協議		地上、地下等における占用物件の有無及び占用物件等で工事支障物が存在する場合	支障物件名、管理者名等		支障物件名		管理者名		支障物件の位置		
				当該工事の工期		現場説明書による。											支障物件の移設時期		工事方法		防護		
7	設備工事との調整		完成時の各種検査までに、別途設備工事の試運転調整等を完了しなければならない場合	試運転調整等の適正期間の確保		設備の試運転調整等を行ううえで、支障のない状態まで完了していること																	
2 用地関係	1	仮用地等として官有地の提供		施工のための仮用地等として施工者に、官有地等を使用させる場合	場所・範囲						9 排水関係	1	排水処理		排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合	排水工法、排水処理の方法等		排水工法		排水処理の方法		放流先	
					時間・時期																		
					使用条件													予定される排水量		排水の水質基準		放流費用	
					復旧方法																		
3 公害関係	1	公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等防止）	○	工事に伴う公害防止のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等の指定が必要な場合	施工方法、建設機械・設備、作業時間		※使用すべき建設機械の適用については工事特記仕様書による。				10 薬液注入関係	1	薬液注入		薬液注入を行う場合	設計条件、施工工法等		設計条件		施工工法		材料種類	
	2	騒音、振動、地盤沈下、地下水枯渇等の防止調査		工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等が予測される場合	事前・事後調査の区分						11 その他	2	水替・流入防止施設		水替・流入防止施設が必要な場合	施設の内容							
					調査時期											設置期間							
					未然に防止するための必要な調査方法																		
					未然に防止するための必要な調査範囲																		
3	電波障害等に起因する事業損失防止調査		電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合	事前・事後調査の区分										周辺環境に与える影響の調査が必要な場合	周辺環境調査の内容								
				調査時期																			
				未然に防止するための必要な調査方法																			
				未然に防止するための必要な調査範囲																			
4 安全対策関係	1	交通安全施設		交通安全施設等を指定する場合	指定の内容						1	工事現場発生品		工事現場発生品がある場合	品名・数量、現場内での再使用の有無 引渡場所		工事特記仕様書による。						
					指定の期間																		
	2	近接施工		鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事において施工方法等に制限がある場合	制限される施工方法						2	支給品及び貸与品		支給材料及び貸与品がある場合	品名・数量・品質								
					制限される作業時間帯										規格又は性能								
	3	落石、雪崩、土砂崩落の防護施設		落石、雪崩、土砂崩落に対する防護施設が必要な場合	防護施設の内容						3	関連機関との近接協議		近接協議に係る条件及び内容									
	4	交通誘導員の配置	○	交通誘導員の配置を指定する場合	延べ人数	交通誘導警備員A		交通誘導警備員B	50	4	架設工法		架設工法を指定する場合	施工方法									
5 工事用	1	一般道の使用		搬入経路、使用時間、使用時間帯等に制限がある場合	制限される工事用資機材の搬入経路						5	工事用水、電力	○	工事用水を指定する場合	工事用水の内容		工事特記仕様書による。						
					制限される使用期間									○	工事電力を指定する場合	工事電力の内容		工事特記仕様書による。					
					制限される使用時間帯								6		新技術・新工法・特許工法		新技術・新工法・特許工法を指定する場合	工法の内容					
				搬入、搬出路の使用中止及び使用後の処置が必要である場合	使用中・使用後の処置内容						7	部分使用		部分使用を行う必要がある場合	部分使用箇所		部分使用時期						
藤枝市役所建築住宅課					一級建築士事務所エス・ティー・ピー			管理建築士 酒井 勝 一級建築士登録 第156057号		検図	作図	日付 R6/2	工事名 岡部みわ保育園解体工事		施工条件特記仕様書					図番 A-04			



外部仕上

巾 木	外 壁	屋 根	ポーチ    テラス	廊 下 ,    軒 ウラ	施 建 具	摘 要
全周囲 モルタル 刷毛引 仕上	全 体 A.L.C 板 の50 目地処理ノ上 シーラー吹付、吹付タイルローラー押工 (アクリル系)	本屋：カラーベストコロニアル青 アスファルト・スリット・フック モヤ：C-75×45×2.3φ606 廊下、下屋：ルーフトンキ 0.0° 片面カラー H=88	床：1.91比斜行フェロコン垂 天井：石綿珪カル板 0.6 A.E.P 塗 テラス：石綿珪カル板 0.6 A.E.P 塗 テラス：コンクリート金コテ    フェロコン 80mm入レ	廊下 (床)：デザインコンリュウム 0.25% (天井) 石綿珪カル板 0.6 A.E.P (壁) A.L.C 面吹付タイル、ローラー仕上げ (アクリル系) 軒ウラ 石綿珪カル板 0.6 A.E.P 換気孔：吹付珪カル板 0.6 A.E.P	軒樋：塩ビ 両端 120タイプ A.E.P (79%) 角型 105 45° 壁樋：V.P 管 75φ×5.5 A.E.P 土留上 角型 70mmφ 建具：アルミ 70タイプ	下足入レ (木製) 830×200×30 中 立 (アルミ) 500×750×300

内部仕上

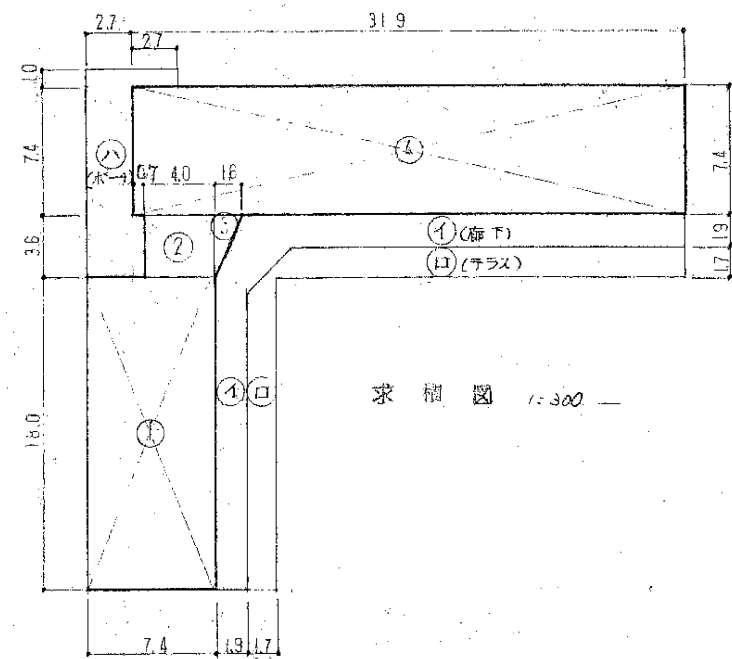
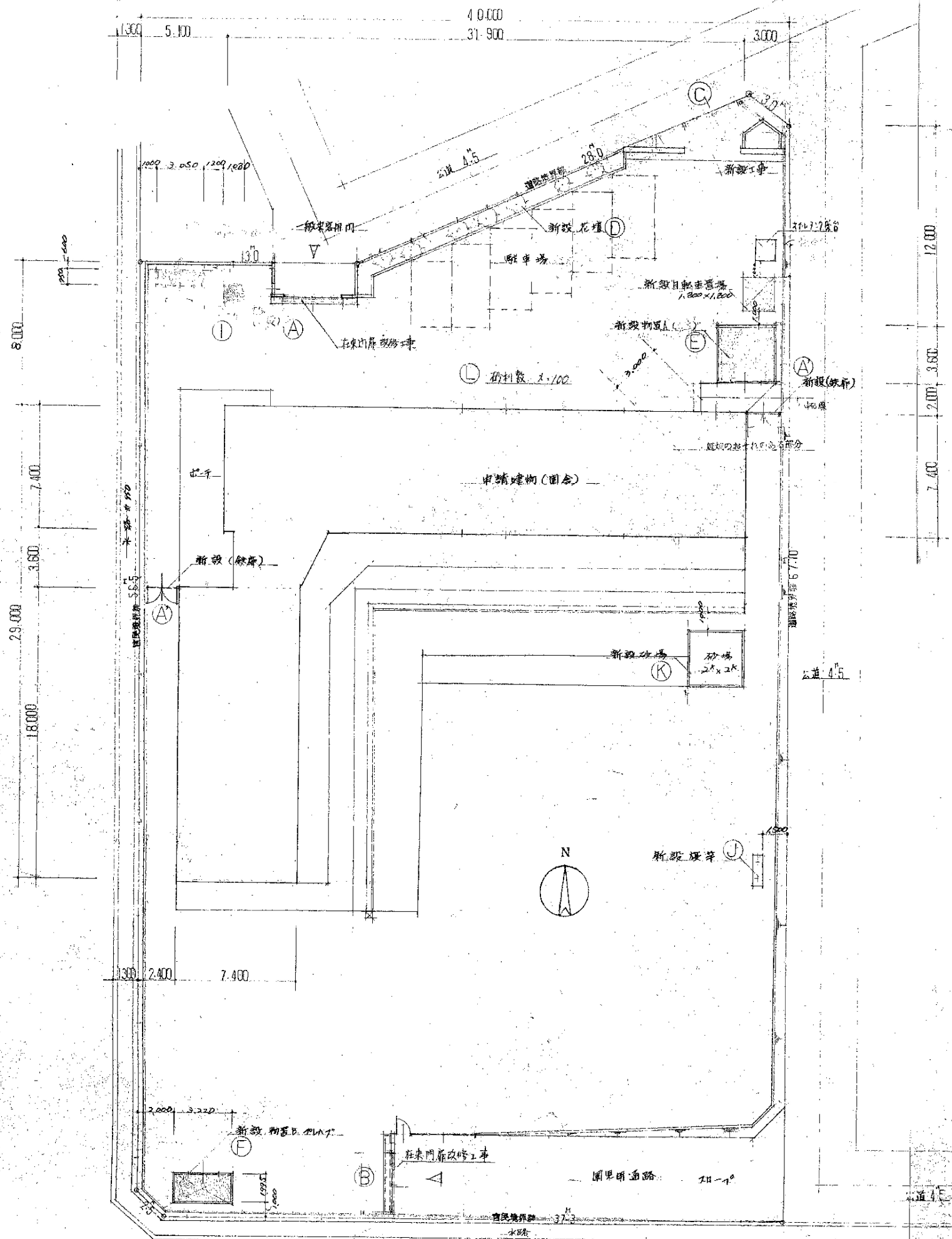
記 号 表

橋本(難燃)	難燃 9.3011
石綿珪カル板 0.6%	天然 NO.1001
岩綿吸音板 0.9%	9 No.1021

棟	室 名	床	塗 装	巾 木	塗 装	腰	塗 装	壁	塗 装	天 井	塗 装	摘 要
園 舎	玄 関・ホー ル	(玄関) 92角磁器タイル貼 (ホー ル) モルタル下地 デザイン・コンリュウム貼 0.25%		(玄関) 人差し石研出シ (ホー ル) 木製 H=95	O.P.	ベニヤ0.5%下地ビニルクロス貼リ		全 左		RB 0.9下地、岩綿吸音板 15% (ホー ル)		壁紙貼付(ホー ル) ハキモリム (受付カウンター)
	調 理 室	86角磁器タイル 貼リ		100角半磁器タイル貼		全 左		石綿珪カル板 0.6% 目スキ	A.E.P	全 左	全 左	
	下 拵へ	全 上		全 上		全 左		全 上	全 上	全 左	全 左	
	踏 込	全 上		木製 H=95	O.P.	石綿珪カル板 0.6目スキ	A.E.P	全 左	全 左	全 左	全 左	
	休 養 室	ハリ付 タタミ敷込 (ネダフォーム0.80%)				ラスボード 0.7%下地 センイ壁		全 左		杉造化粧石コウボード 貼 0.7%		
	便 所	19φ丸型モザイクタイル貼		100角半磁器タイル		全 左		石綿珪カル板 0.6% 目スキ	A.E.P	全 左	全 左	
	保育室	マトアフロ-リングブロック 0.15%	O.S.W	木製 H=80	O.P	橋本ベニヤ 0.6%目スキ (橋本板 1)ベニヤ0.5%下地ビニルクロス貼	O.P	全 左	全 左	岩綿吸音板 0.9×303×606 (橋本) P.B 0.9 303		
	便 所 (調理用)	19φ丸型モザイクタイル貼		100角半磁器タイル		全 左		石綿珪カル板 0.6% 目スキ	A.E.P	全 左	全 左	
	遊戯室	マトアフロ-リングブロック 0.15%	O.S.W	木製 H=80	O.P	橋本ベニヤ 0.6%目スキ (橋本板 1)ベニヤ0.5%下地ビニルクロス貼	O.P	全 左	全 左	岩綿吸音板 0.9×303×606 (橋本) P.B 0.9 303		
医 務 理	職 員 室	全 上	全 上	全 上	全 上	橋本ベニヤ 0.6 目スキ	全 上	全 左	全 左	全 上		アコーデ-ホンカ-テン , P.44附 (窓下)
	医 務 室	全 上	全 上	全 上	全 上	全 上	全 上	全 上	全 左	全 上		
	休 養 室	ハリ付 タタミ敷込 (ネダフォーム0.80%)				ラスボード 0.7%下地 センイ壁		全 左		杉造化粧石コウボード 貼 0.7%		更衣ロッカー 地板、クマキ板 (貼付)
	教 材 室	長尺塩ビ クッションフロアー 0.2.5%		木製 H=95	O.P	橋本ベニヤ 0.5%目スキ	O.P	全 左	全 左	石綿珪カル板 0.6% 目スキ	A.E.P	
	乳児室	マトアフロ-リングブロック 0.15% ハリ付 タタミ敷込 (ネダフォーム0.80%)	O.S.W	木製 H=80	O.P	橋本ベニヤ 0.6% 目スキ (橋本板 1)ベニヤ0.5%下地ビニルクロス貼	O.P	全 左	全 左	岩綿吸音板 0.9×303×606 (橋本) P.B 0.9 303		
	調乳室	長尺塩ビ クッションフロアー 0.2.5%		100角半磁器タイル		全 左		石綿珪カル板 0.6% 目スキ	A.E.P	全 左	全 左	流シセ-ト-式
	便 所 (調理用)	19φ丸型モザイクタイル 貼リ		100角半磁器タイル H=500		石綿珪カル板 0.6% 目スキ	A.E.P	全 左	全 左	全 左	全 左	

アスベスト含有仕上材

材料名	部位	材料名	部位
カラーベスト	屋根	岩綿吸音板	天井
アスファルト・フイック	屋根	スレート板	壁(矩計図による)
アクリル系吹付タイル	外壁、外部廊下	ラスボード	壁
石綿珪カル板	天井、壁	長尺塩ビシート	床



求積表

①	19.0 x 7.4	=	133.2
②	3.6 x 4.0	=	14.4
③	3.6 x 1.6 x 1/2	=	2.88
④	7.4 x 31.9	=	236.06
計			386.54 M <sup>2</sup>

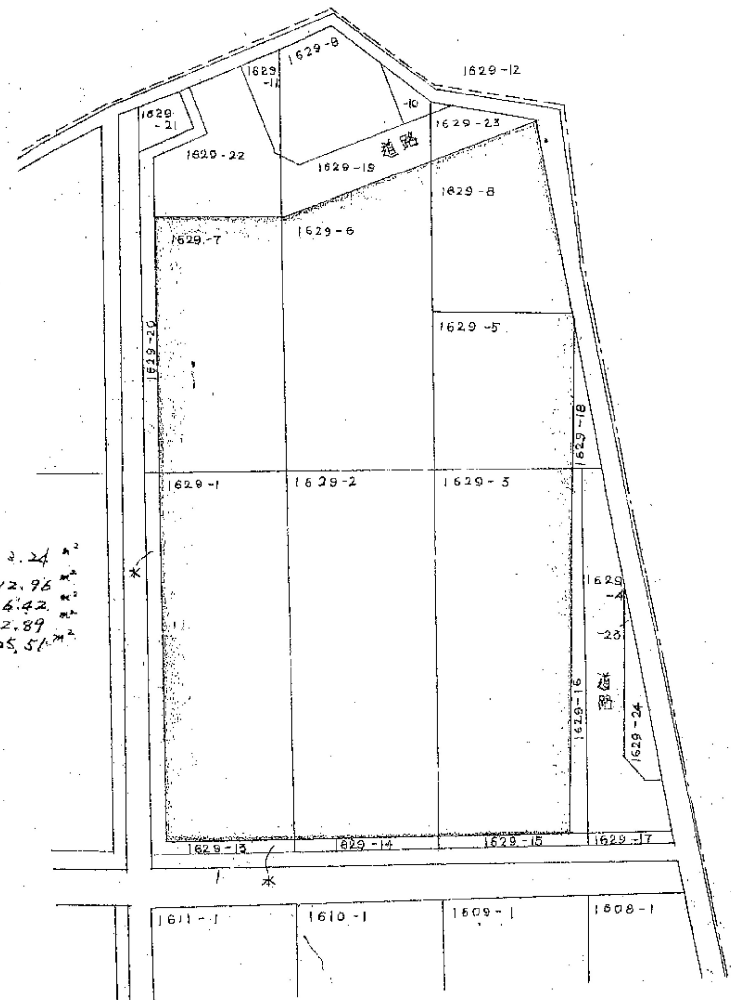
求積図 1:300

工事概要

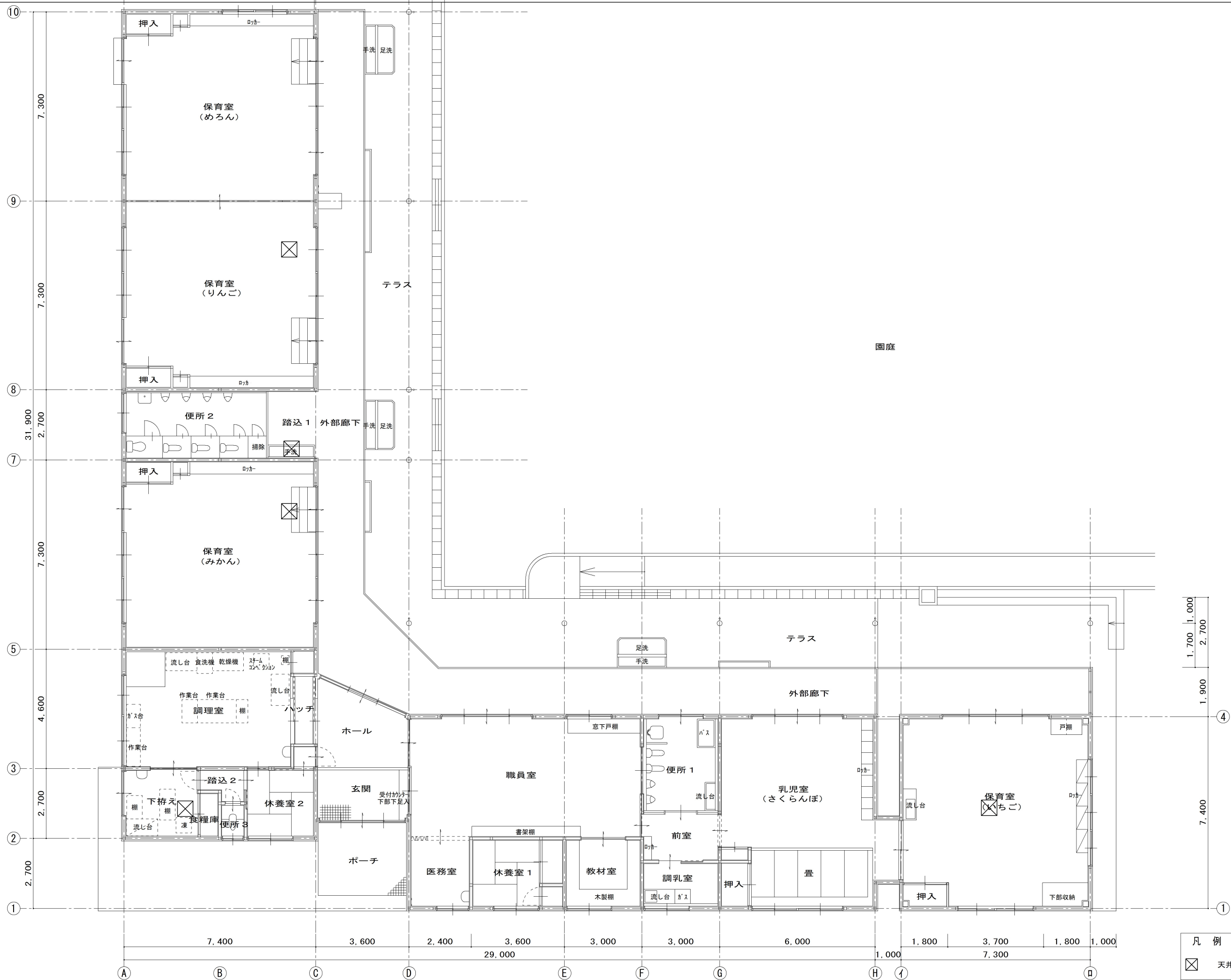
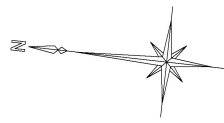
工事場所：岡部町内各池添 1625-(1~3,5~8)  
用途地域：第2種住居専用地域  
防火地域：指定なし

敷地面積	2456.44 M <sup>2</sup>
建築面積	568.70 M <sup>2</sup> (園舎)
床面積	386.54 M <sup>2</sup> (園舎)
延面積	386.54 M <sup>2</sup>
建ぺい率	23.15% < 60%
容積率	15.74% < 200%

・有線駐車場 2.24 M<sup>2</sup>  
・物置 A 12.96 M<sup>2</sup>  
・物置 B 6.42 M<sup>2</sup>  
・7m<sup>2</sup>未満 2.89 M<sup>2</sup>  
合計 25.51 M<sup>2</sup>



公図写 1:500



凡 例
☒ 天井点検口 (口450×450)